

生徒のみなさんは必ず保護者の方に渡してください。

# 西尾が丘

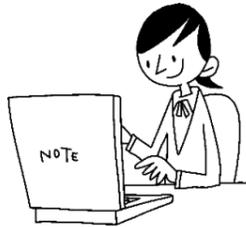
令和5.10.2  
直方第二中学校  
校長 川原 国章  
第9号



## 「鍛ほめ福岡メソッド」の取組

「鍛ほめ福岡メソッド」とは、**鍛えて**（いろいろ試して解決したいと思う心やできないことをできるようになりたいと思う心）**ほめて**（取組の結果や取り組んできた過程を）**子どもの可能性**（学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等）**を伸ばす**という福岡県独自の指導方法です。

指導者（教員）は生徒に「少し難しい目標や課題（壁）を設定し（鍛える）」、子どもは周囲の人たちから最小限の支援を受けながら何度も「挑み」、目標に向かって活動に取り組んだ過程や結果を「認められる（ほめる）」という仕組みからなるものです。



## 夢や目標に向かって

4月18日（火）に3年生が全国学力・学習状況調査、6月20日（火）に1・2年生が福岡県学力調査を実施し、その結果が届きましたので、お知らせいたします。

### 1 学力調査の結果

3年生は、国語、数学について、ほぼ全国平均に近い値となり、英語については全国平均を下回る結果となりました。2年時の県学力調査と比べると国語、数学ともに伸びが見られました。1・2年生は、国語、数学ともに県平均を下回る結果となりました。

どの学年も知識・技能の問題では、全国・県平均を上回る問題もあり、スパイラルタイムで基礎的な内容に取り組んでいる成果が見られました。課題のあった問題と各教科のアドバイスを載せていますので、自分の学習を見直してみましょう。大切なことは、この結果を受けて、次にどのような頑張りをするかです。日々の学習・生活を大切に地道な努力を「継続」していきましょう。

学年	教科	課題（正答率が低かった問題、県の正答率と差が大きかった問題）
3年	国語	文脈に即して正しい漢字を書くこと。意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。
	数学	用語や公式（自然数、平面、反比例）を理解すること。三角形の合同を証明すること。
	英語	必要な情報を聞き取ること。まとまりのある英文を読んで、必要な情報を読み取ること。自分の考えとその理由を書くこと。
2年	国語	読み手の立場に立って、叙述の仕方や表現・語句の用法を確かめて文章を書くこと。場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈すること。
	数学	用語や公式（累積相対度数、立体の側面積や体積の求め方）を理解すること。不等式や方程式を立式すること。事象と関連づけてグラフやヒストグラムを解釈すること。
1年	国語	漢字を読んだり、書いたりすること。接続詞の使い方、主語と述語について理解すること。目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。
	数学	小数や分数の計算をすること。三角形の高さが等しくなる理由を答えること。平行四辺形の対角線で区切られた三角形の面積を求めること。グラフをもとに比較量や割合を求めること。

教科	アドバイス
国語	漢字は繰り返し練習し、文脈に即して覚える。文章を読むときに、意見と根拠、具体と抽象に色分けして線を引く。日頃から物事（授業の課題やニュースなど）に対して自分はどうか、その理由は何かを考える習慣をつける。
数学	大事な用語や公式は書き出しておき、繰り返し見て覚える。図形の問題は、図の中に分かることを書き込んで考える。図の中に合同な三角形を見つけ、等しい辺や角に印をつけ、仮定と結論の両方から証明の流れを考える。グラフの縦軸と横軸が何を表しているかを確認する。不等式や方程式を立式するとき、具体的な数字で考えてから文字に置き換える。
英語	単語・熟語はくり返し書いて語彙力をつける。文章を読むときは、接続詞に注意する。単語からあらすじを読み取る練習をする。英作文は、基本の英文を覚えておき、それをもとに考える。

### 2 全国学力・学習状況調査の質問紙の結果より

質問内容（全国と差があったもの）		直二中	福岡県	全国
Q17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。「1時間以上」と答えた生徒の割合	50.8	61.6	65.8
Q36	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。「発表していた」と答えた生徒の割合	47.1	52.5	62.1

調査から学習には、興味・関心があるものの、家庭学習が不足していることを改めて確認することができました。学習内容を定着させるためには、授業を大切にすることはもちろんですが、復習・予習といった家庭学習がとても大切です。与えられた課題だけに取り組むのではなく、自分から進んで計画し学習に取り組むという積極的な学習態度が必要です。授業で習った内容をその日のうちにワークで復習したり、授業で間違った問題や分からなかった問題をノートに解きなおしたりするなど、家庭学習の充実を図っていきましょう。平日の学習時間は、90分を目標にしましょう。

生活面に関しては、「将来の夢や目標を持っている」(+4.7)、「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」(+6.5)、「友達関係に満足している」(+4)など、多くの質問において、全国平均を上回っています。先生方との関係性の良さや友達との絆の深さを感じるとともに、皆さんの「心」がしっかりと育っていることが分かり、とてもうれしく思います。

将来の夢や目標を持つことは、日々頑張るためのエネルギー源です。また、その達成のために失敗を恐れずに挑戦することは、とても大切です。皆さんには、無限の可能性があります。自分の潜在能力を信じ、前向きに頑張っていきましょう。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指していきます。そして、引き続き、授業やスパイラルタイム（15分間の学習）等を通して、鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた実践の充実にも努めなければならないと考えています。

また、授業がより分かりやすいものとなるように、先生たちも研修を通して授業を見直しています。先生たちと一緒により良い授業をつくり、将来必要な力をみんなで付けていきましょう。

